

## 「惑星」のキーワード「表明」

正月に、聖なる空間である神社に、初詣する人々のもつ潜在的な力というものを感じませんか？

一つの神社（異次元への通路）に、1日に何十万人もの人々が集まり願いごとをする。

この「願いごと」が自分のための願いごとから、

もし、地球のための、宇宙のための「祈り」にそのクオリティーが変わった時、

その「祈り」がすごいエネルギーをもつことを想像することができないでしょうか？

何百万人、何千万人が、同じ瞬間に行う「祈り」が、宇宙のリズムと生体のリズムと同調している時、

「その祈り」が地球をおおいつくすほどのエネルギーをもつことが可能だと思いませんか？

そして、さらに、地球上の様々な場所で、同じ瞬間に、

宇宙と生体のリズムに合った「祈り」が行われたなら、

その「祈り」は同調して、宇宙に影響を及ぼすことを感じることはできないでしょうか？

—— 『コズミック・ダイアリー1999』より

事務所の移転のときに、『コズミック・ダイアリー1999』を読み直し、柳瀬は「この13年、何もしてないのかなあ」とため息をつきました。

冬の澄み切った空気の中、ある種、敬虔な思いで出かける初詣。心の底から、わきあがる思い、すべてがつながっているという、宇宙の有機的な秩序に、感謝する。そんな「祈り」が、自然と生み出されるべき時と場所。

ところが、神社が、お寺が、ご祈願として用意しているのは、決められたように、「家内安全」「商売繁盛」。そして、それを多くの人が願います。それは、自分のためだけの、願いへの誘導。自分の家族のためだけの「家内安全」、自分の会社のためだけの「商売繁盛」の願い。

「表明すれば、顕われる」。この宇宙の法則を熟知すればするほど、なんということを、日本人は、元旦早々を行なっているのか？ 神社は？ お寺は？ 本気で、こんな愚行を続けるのか？ それをまだ、黙って見過ごしている。

初詣の願いを「祈り」に

惑星の月の5日 KIN260 の日に

柳瀬 宏秀